



私は今、かなり「ネット生活」にはまっている。例えば、本を購入するにもネットをフル活用している。

まず、読みたい本があったとする。書籍のホームページ(HP)上の世界的な販売シエアを持つ「アマゾン」(<http://www.amazon.co.jp>)のページを見に行く。作家やタイトルを頼りに検索する。

ここで便利なのは、単に検索するだけでなく、その作家の「売れ筋順」、発売順などの表示も見ること

### ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

とができるため、関連した本も見えてくることである。また、目次やレビューやカスタマーレビューを見ることができ、本屋の立ち読み並みの手軽さで内容を知ることができる。私はユーザー登録をしているので、ワンクリックで簡単に購入手続きが

らである。アマゾンで内容の確認はできているが、購入前に本当に買うに値するかどうか、図書館の本で確かめたいためである。ケチと思われるかもしれないが、本好きの私はいきなりなっていると、アツという間に月の本代が何万円にもなってしまうし、収納にも

つたり、保存版で残しておきたいものは、すぐにアマゾンで購入する。また、プレゼントやこだわりの購入は「楽天」(<http://www.rakuten.co.jp>)などのHPで済ませている。

品と金額で検索し、到着時間からメッセージ内容のしに至るまですべて指定できる。こういった購入は、入力ミスなどで危険性があるのではないかと心配される方もいるだろうが、必ずメールで発注内容の問い合わせが来るため、間違いが起きることは、まずない。

## ネット生活

済む。送料は千五百円以上(現在)無料なので、送料が負担になることもない。

困る。そこで、図書館のHP上から、予約を入れる。各所にある図書館の受取場所の指定もでき、予約順もわかるので、人気のある本も読むスケジュールと順番を見て予約を入れている。

このように、いったん読んでみて、書き込みをしたかどうか、書き込みをしたか

しかしながら、すぐに購入手続きを取らない。隣のコンピューターで金沢市立図書館のHPを開く。今年一月からHP上で検索予約ができるようになったか

的のモノが見つからない場合もある。それに比べ、HP上では目的のモノが見つからないという事は、まずない。かなりオリジナリティーのあるモノが見つかる可能性が高い。どうして地方では需要の関係からか、ユニークなものが増えている。欲しい商

品と金額で検索し、到着時間からメッセージ内容のしに至るまですべて指定できる。

オークションや共同購入もあり、こちらでは手に入りにくいモノでも、欲しい価格で手に入る。しかし、ふつと感じるのは、対面販売が大きな曲がり角に差し掛かっているのではないかと、このことである。このようなネット社会の中で、従来の対面販売がいかに生き残っていくのか、大きな課題になっている。